

【視覚障害者向け説明会】

1 模型体験

2種類の模型を使用して、出席者1人ずつ新庁舎の配置を確認した。

はじめに、建物の形をした立体的な模型を触ってもらい、建物の形や入口、周辺の配置などを確認した。その後、敷地内の1階平面図を表した模型を触り、敷地に入ってから建物に入るまでの動線や、建物に入ってから障害者福祉課までの動線などについて確認した。

2 基本設計の説明

市より、基本設計の概要について説明した。

3 これまでいただいた意見・要望の反映状況

府中市視覚障害者福祉協会からの要望書の内容について、検討状況及び反映状況などについて説明し、次の各項目について意見交換を行った。

(1) 拡大読書機について

「弱視者（ロービジョン）の方向けに拡大読書機を備えた記載台を設置してほしい」という要望に対し、建築設計ではなく、備品対応することとし、現状の対応や今後の検討の必要性など、障害者福祉課に確認していく旨を説明した。

(2) 音声案内について

「玄関にシグナルエイド対応の音声認識ガイドシステムを設置してほしい」「てくてくラジオをトイレ入口、EV等入口、階段などに設置してほしい」「シグナルエイド対応の信号機を設置し、バリアフリーなまちづくりを実現してほしい」という要望に対し、本事業は庁舎敷地内の建替えのため、信号機などへの設置については関連部署に伝えていく旨を説明し、意見交換を行った。

《意見交換》

市： シグナルエイドとてくてくラジオの各機器の設置希望の場所、各機器の共通する機能として音声案内をすることになると思うが、それぞれの使いわけについて伺いたい。設置に当たっての優先順位もあわせて伺いたい。まず、シグナルエイドについて玄関という話があったが、どういう場所がよろしいか。

市民： 玄関は必須だが、音声ガイドのボリュームにもよるが、トイレとエレベーターと障害者福祉課にもできれば設置してほしい。てくてくラジオも便利だが、位置関係の範囲が広がってしまう可能性があるのでは、シグナルエイドに対応した音声ガイドがついたほうが良いと思う。

市： シグナルエイドについては、既存の庁舎で西と東の玄関でピンポンという音での案内はあると思うが、音声の案内は普段皆さんは使っているか。

市民： 中央図書館があるルミエール府中や、市外のいろんなところにあるものは使用している。新庁舎では玄関が増えると思うので、玄関でチャイムだけでなく、それぞれの玄関でここがどこの玄関ということが知りたい。

市： 先ほど模型で説明したなかで、メインエントランスの位置を紹介したり、普段使われることが想定されるのは西側の車寄せ側などという話もあったが、メインエントランスであるおもやの南側、車寄せのところなどにできればつけてほしいということか。

市民： あとは大國魂神社側のはなれの方から通り抜けるピロティの道路側にも必要。シグナルエイドの音声案内は、建物側にある本体から受けた信号を、信号機で受信するとピピッと合図をして、こちらが送信ボタンを押すと本体側から「ここは市役所東玄関です」というような言葉の案内を出す仕組みとなっている。また、信号機があるということは受信しないが、送信すると延長時間と音声になるような仕組みになるという種類もあり、建物用にはこちらから送信すると録音音声で案内をする機能がついているものがある。

市： てくてくラジオについてはどうか。

市民： てくてくラジオは、例として挙げたものだが、AMの携帯ラジオの一番端の周波数に合わせて持って歩いていると、AMラジオの小さな発信機から弱いAM電波が流れてきて、3～5m近づくと音声はラジオから聞こえてくるものである。それを使う想定としては、西側のカウンターの中に設置されていれば、庁舎の中を歩いていると目的の窓口に近づいたということがラジオから音が聞こえてきて分かる。

市： てくてくラジオはAMの受信機があれば受信できるという手軽さがあるということを聞いているが、発信機というものがあまり他の公共施設で使われていないということも調べると分かってきたところだがどうか。

市民： 立川市役所にはある。あまり普及していないので狭い範囲で聞いた

めの交通誘導については色々な種類が出ていて、こちらとしてもどれを紹介していいのかもなかなか分からないところが現状である。

市： 立川市役所は新しい市役所だと思うが、こちらでも調べてみるが、音声の場所が分かれば教えてほしい。

市民： 完成したばかりの際に、福祉課とトイレの体験に行ったが、3箇所くらいだったと思う。私の希望としては、シグナルエイドを設置してボリュームを小さくすれば、他の人にも迷惑にならないのではないかと考えている。ポケットラジオをもっていけば費用は必要なく、目的や希望で人によって違うと思うが、私はシグナルエイドで案内してもらえればと思う。

市： シグナルエイドの送信機は皆さん持っているものなのか。

市民： 私は持っていない。

市： この中ではお1人か。これは自分で買ったり、支給されたりするものなのか。

市民： 日常生活用具のなかに含まれているので、障害者福祉課に請求すればもらえることになっている。

市： わりとほとんどの方がお持ちということか。

市民： 東村山市の場合は、近くにいくと「ここは東村山市役所の玄関です」という音声の流れ、シグナルエイドがなくても分かるものとなっている。

市民： 今、人感センサーと画像解析で白状を持っている人を自動的に解析して、判断して音声を流すというところもあり、技術的には可能なシステムである。白状や盲導犬を防犯カメラの画像で自動的に読み取るシステムもある。色々あってこちらもどういう情報を提供していいのかが難しい。

市民： 基本はほんとは何も持っていなくても行けば分かることが理想である。

市： それは設置する場所や周辺環境にもよってくると思うので、ご意見をいただいたなかで、先ほどの自動解析するなど色々な機能があることが勉強させていただいて今後貴重なご意見として参考にし、障害者福祉課などと必要性や設置箇所や使い方を今後検討して設計に反映できればと考えている。

(3) フロア案内板について

「各フロアの案内板に点字を併記してほしい」「案内板の表示箇所や位置を協議したい」という要望に対し、案内板での点字内容や表示の優

先順位について意見交換した。

《意見交換》

市： はじめに案内板での点字内容について、どういう内容の点字を併記したほうがいいのかお聞きしたい。例えば、障害者福祉課であれば、課を点字で併記することや、必要な機能としてトイレの位置などが考えられると思うがどうか。

市民： 分かりやすい模型と平面図を提供していただきありがとうございました。今と同じで例えば1階だったら、何が1階にあるかという情報をぜひ入れてほしい。具体的になるが、イトーヨーカドーでは1階には何があるというものが点字で書いてあったりするので、1階部分にそういう情報があっても良いと思う。何階に行けばいいのかがそこで分かる。武蔵境のお店になるが、他のところにもあると思う。

市： 敷地や建物に入ってすぐのところにあるようなものになるか。

市民： イメージとしてはそうである。

市： だいたいどのあたりになるか。入口付近か。

市民： ヨーカドーだと自動ドア入って、誘導ブロックで誘導している。

市： 誘導ブロックで誘導する前にそういう何階に何があるという表記があるということか。

市民： そうである。また、押しボタンがありそれを押せば、案内の人が声をかけてきてくれ、買い物をしたいと伝えると一緒に案内をお願いすることができる。

市： そういう形になると一番いい。

市民： 駅などでは、案内板付近で触地図があることをピンポンという合図でお知らせするものもある。それをつけてもらえるとそこへ行けて、案内人を呼ぶボタンも押すことができて良い。

市： 先ほど説明するなかで、大國魂神社側から横断歩道を渡って、敷地に入ったすぐのところに点字ブロックを設けて、外部にはなるが、おもややはなれの場所など敷地の構成などの触知の案内板を設置しようと考えている。そのなかで、メインの入口がこのあたりというのがそこで分かるような形を考えている。

市民： おもやの玄関のところにも、各課を記したものがほしい。案内板から各課へ行けるなどが良い。

市： おもやの西側にも車寄せがありそこにも入口があるがどうか。

市民： そこにもあったほうが良い。

市： 障害者福祉課にも一番近いところになり、そういう入口も普段良く

使う場所になるか。市役所にタクシーで良く来るということも聞いているが。

市民： 両方あると良い。

市： 場所については今日意見をいただいたが、敷地入ってすぐのところや建物の入口入ってすぐのところに、点字を併記した情報があると使いやすいということか。

市民： 総合案内のところにも必要である。

市： 先ほど建物の中を模型で触っていただいたが、総合案内が建物入って少し歩いたところにあるが、そこにあっても大丈夫か。

市民： そこには人が常駐しているか。

市： 常駐している。

市民： そこまで行けるかというのはある。

市民： 誘導ブロックは、どこにあるっていうのを教えてもらっていないので、真っ直ぐ行けば良くて、行き慣れれば行けるようになる話だが、建物に入って誘導ブロック自体がどこに行くのかを教えるものであってほしい。なので、私達は一步一步の足もとの情報がほしいので、どういう情報にするのかもあるが、できるだけ玄関に入ったところに、総合案内がブロック沿いに進めばあるみたいなことがあれば、とりあえず総合案内に行くかという判断をすることになる。

市民： 総合案内に行くまでが分からない。

市： あらかじめ、しばらく歩くと総合案内があるという情報が分かれば、そこまで歩いていけるということか。そのあたりの位置関係も検討させてもらって、できるだけわかりやすい位置に近づけていきたいと考えている。また、点字をつける内容については、課名やトイレの内容、レストランなどになるかと思う。

市民： レストランも必要である。

市： 新庁舎では売店があり、コンビニを想定しているが、売店の位置もあつたほうが良いか。また、はなれの2階には図書館も入るがそういったところも併記したほうが良いか。

市民： したほうが良い。

市： あとはエレベーターやエスカレーターも設置する予定で、エスカレーターは1階と2階をつなぐロビーに配置するが、エスカレーターの利用などはどうか。

市民： バリアフリー法ではエスカレーターは点字ブロックで誘導しないが、一般的に視覚障害者は頻繁に利用している。エレベーターや階段は遠回りしたところであり実際はあまり使わない。駅などは手前にエ

スカレーターがあり、それに乗ってしまうので、できればバリアフリー法の考えもあるが、エスカレーターの方に誘導してもらえるなら一番良い。

市民：　そこがエスカレーターということが分からなくて、怖いということもある。

市民：　今エスカレーターは「ここは上りエスカレーターです」という音声案内がつくことになっているので、そこに行くまでの点字ブロックの誘導を併設してもらえれば問題ないと思う。

市民：　先日NHKで取り扱っていたが、オリンピックに間に合うように東京都全域にビーコンという、いわゆるICタグを10mおきくらいに埋め込んでおいて、スマホを持っていれば、確実にあと何m先に階段があるという案内が出るようにするみたいである。4年後なので市役所ができる前に完成しているものだと思う。あまりお金がかからないみたいだが、スマホを持たなくても、そういうリーダーを作ってもらえれば、シグナルエイドと肩代わりできるのかなと思う。ビーコンを使用するとかなり細かく分かるそうである。今清水建設とIBMなどの3社で開発しているそうだが、2月に銀座で実験を行うようで、そういうものを利用すると費用が少なくて細かい案内ができるのではないかと思う。

市：　情報をいただいたので、こちらでも調べててくれラジオやシグナルエイドなどとどう棲み分けていくか、調査していきたい。

(4) 電光掲示板について

「電光掲示板の選定は大きな文字で反射を抑えるなど、高齢者や低視力者に対応したものにしてほしい」という要望に対し、他の施設での良い事例などを確認した。

《意見交換》

市民：　電光掲示板とは、例えば、住民票の受け取りのときに整理券をとって何番ですよというように番号でアナウンスすると、今窓口に整理番号が表示されて番号が分かるという方法があると思うが、そういう表示のことである。全く見えなければ総合案内に頼るしかないが、弱視の人の場合は人に頼るのを嫌がり自分でやりたいという意識のほうが強人が多いので、見えにくいとどこに行っているのか分からなくなったり、順番を逃してしまったりすることがある。

見えにくい人や弱視の人の場合、杖を持っていないと周りが分か

らなく、声もかけられにくいので、非常に困ってしまうことがあるため、見えやすいものとなるようにしてほしい。私自身はもう見えなく、どこにどういう製品があるのかは分からない。

市： 弱視の方はいかがか。

市民： ロービジョンの人の場合は、背景が黒で白抜き文字のほうが見やすい。電車の行き先表示程度の文字の大きさであれば見える。

市： 電車のホームにあるものか。

市民： 電車の車体についている横文字のものである。京王線もそうだが、LEDの表示のものは白抜き文字で、あれくらい大きいと見やすい。掲示板などでも黒抜き文字は見にくい。

市： 白抜き文字が見やすくて、電車の車体についているものが見やすいということか。こちらも参考にさせてもらい研究していきたい。

市民： 電光掲示板ではないが、トイレのところで女子トイレ、男子トイレという音声案内が聞けると良い。それがあると分かりやすい。

市： 普段から音が出ているというようなものか。

市民： ここにトイレがあって、女子か男子かが分かると良い。

市民： 市ではどのように考えているか。

市： 現在検討しはじめているところだが、今回のようにご意見をいただいてそれを参考にさせていただいて、考えていこうと思う。

市民： JRの場合は、定期的に「左が男子トイレ、右が女子トイレ」など音声を出している。そういう方法もあるし、横浜の視覚障害者の施設では、センサーで人を感知したときに音声案内が出るものがある。できればどちらでも構わないので、考慮してほしい。

市民： 野川公園のトイレにある。前に行くと、「右が男子トイレ、左が女子トイレ」と入る前に音声が出る。あれは良いなと思った。

市民： トイレ関連で話すと、男子トイレと女子トイレの位置はできるだけ統一してほしいというのが1つの要望である。あとは、操作パネルについてもできるだけ同じもので操作できるようにしてほしい。トイレの構造はJIS規格があるが、施設によって違うので統一してほしい。流すボタン、レバーや呼び出しボタンの位置などバラバラだと分からなくなる。本当は日本全国同じものにしてほしい。

市： 日本全国というのはなかなかこの庁舎事業で行っていくのは難しいと思うので、庁舎のなかでできるだけ統一を図れるかどうかを検討して、皆さんが使われる場所を優先的に行うなど色んな方法があると思うので、参考にしていきたい。

市民： 各フロア全部同じにしてくれれば、一つ覚えれば他のフロアも安心

して使える。

(5) 誘導ブロックについて

「誘導ブロック（点字ブロック）の仕様の選定の際に関与したい」
「屋内には突起の高さが2.5mmの誘導ブロックを採用してほしい」という要望に対し、誘導ブロックの種類について確認した。

《意見交換》

市： 誘導ブロックの選定は実際に工事に入る直前で行うことになるが、今回サンプルを用意したので、体験していただきご意見をいただきたい。2.5mmの突起というのは、条例で必要とされているところには設置ができないということになるため、補助的な設置になると思う。まずは1人ずつ触ってもらえればと思う。

《手で確認後、実際に足や白杖で体験》

(6) 階段の段鼻について

「段鼻はコントラストを強調してほしい」という要望に対し、詳細を確認した。

《意見交換》

市民： 段鼻に関しては、自分の以前の体験だと、同じ形の格子状のタイルで敷き詰められている場合に、段があると格子が全部フラットに見えてしまう。見えているので平らだと思って足を踏み出すと段があつてつまづくことがあった。上りは大丈夫だが、下りるときに目の錯覚でフラットに見えてしまうので、端のところはライン状に見えるようにしておくことで段があることが分かりやすくなるのではないかと思う。

市民： コントラストの状況で2.5mmの点字ブロックが分かりやすいかどうかについて、例えば、長い距離を見ないと分からない感じもするので、2.5mmは心細いと思った。そのへんは室内ということで考えるとどうなるかということや、車椅子の方々との折り合いもあるが、ちょっと心細い。

市民： ブロックの敷いてあるところの床がガタガタしていると分かりにくい。ザラザラしている床の上にブロックがついていると良く分かりにくい。タイルでもつるつるしていると分かりやすい。

市： このあたり設計を進めるなかでご意見を参考にさせていただきたいと思っている。

市民： 本格的に設置する前に仮設の状態で体験してみたい。そういうチャンスをもらえたら良い。

設計者： 今日はお忙しいなかお集まりいただきありがとうございました。今日の色々な皆さんからのご意見を参考に設計のほうに反映していきたいと思う。特に誘導ブロックについては、現時点では2.5mのものでは条例的に使えないところもあるので、実際どの範囲に使えるかということと、周辺の床の素材とのコントラスト、あとは耐久性、シートタイプだとはがれやすいということもあるので、そのあたりを踏まえて総合的に検討を進めていきたいと考えている。階段の段鼻についてもいただいたご意見をもとに設計に反映していきたい。また、次の機会にそういう体験してもらえらる機会をもし設けられたら、ご覧いただきたいと思う。

市： 全体を通してご意見があったらお願いしたい。

市民： 今まで広報の特別号が出ていて、基本設計が完了したのでこのタイミングで出ると思うが、点訳ボランティアの方が点訳した点字をいつも読んでいるが、あれは市民に配られるものの内容全部を記載しているのか、抜粋のものか。

市： 特別号の点字広報については、一部抜粋になっている。

市民： 表や絵は抜粋になると思うが、内容についてはどうなっているか。

市： 基本的には抜粋になっている。

市民： できるだけ抜粋してほしくないと思っているが、そのへんは広報と相談などしているのか。

市： そのあたりについては作っていくなかで協議していきたい。今回模型を触ってもらったというのも、そのへんを補完できればと考えてこういう機会を設けたということもあるので、広報の内容については、広報を作る段階で打合せしていきたい。広報は2月末に発行する予定である。